

## 病院理念 「すべての人びとに安らぎと希望を」

患者さんのための院内ニュース

## うぐいす



## 新任の挨拶

千厩病院 院長 宗像 秀樹

4月に千厩病院長として着任しました宗像秀樹です。宜しくお願いいたします。

前任地は胆沢病院で、副院長・整形外科長として1年勤めました。その前は久慈病院で、一人科長として10年、二人で19年合わせて29年勤めました。

久慈病院では、整形外科医として骨折治療・人口膝関節・関節リウマチ・骨粗鬆症の治療を行い、診療以外では回復期病棟の立ち上げ、医療機器の整備を行い、初期臨床研修における基幹病院研修医教育に2期生から携わりました。昭和30年生まれで、青森県八戸市出身 岩手医大卒 です。

久慈病院勤務が29年と長く、胆沢病院で最後までと思っておりましたが、縁あって異動して参りました。先日の外来診察で患者さんとお話しした際、沿岸の暮らしが長い私の訛りのためか、うまく意思疎通ができませんでした（頼みの看護師さんも分かりませんでした）。

千厩病院は旧東磐井郡の中核的病院として二次救急・透析医療と地域のプライマリーケアを担ってきた病院です。昨年度の総合診療外科の例では、特定の臓器や疾患に限定せず、患者さんを総合診療マインドを持って手術から透析の一部管理まで外科3人の医師で頑張っています。

さらに、県内外の初期臨床研修医を地域研修で受け入れており、若い力が躍動しています。

しかし、2001年には18人の常勤医師が、初期臨床研修医制度、医師不足による県立病院集約化などの影響で今年度は8人の体制となりました。このため、岩手医科大学附属病院、山形大学医学部附属病院など県内外から、多くの医師の外来診療・透析治療・当直・検査等、診療応援をいただいております。

このような状況でも昨年度は、「総合診療」を冠した診療科名（総合診療内科・総合診療外科）への変更、電子カルテの導入、地域包括ケア病床の稼働など新しい挑戦が続いています。

私は当院の使命を

1. 救急医療・透析を続け東磐井地区の医療の灯を守る。
  2. 急性期病院の後送病院として病院と家をつなぎ、回復期・維持期の患者さんを治療する。
- と考えております。

患者さん・ご家族の声を聴きながら、皆様に助けをいただきながら、千厩病院の役割を果たしていきたいと思っております。『すべての人々に安らぎと希望を』の病院理念のもとその言葉を実感していただけるような千厩病院を創ってまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

## 本誌の内容

- 1P 宗像秀樹院長 ご挨拶
- 2P トピックス(平成28年度第2回地域医療懇談会)
- 3P トピックス(ボランティア合同懇談会 5S活動について)
- 4P 決定!平成28年度所属長表彰



平成28年度第2回千厩病院地域医療懇談会は、「ポリファーマシー（多剤併用）による弊害をなくそう」をテーマに、一関市役所千厩支所を会場として基調講演とワークショップの2部構成で平成29年2月15日（水）に開催しました。

基調講演では下沖前院長より、「ポリファーマシー 多剤併用がもたらす問題」と題して、ポリファーマシーとは？それによるメリット・デメリットとは何があるか？原因と解決方法は？といったお話しや年齢が上がるにつれ処方される薬剤の数が増え、それに伴い転倒や有害事象のリスクが高まることなどご講演いただきました。



また、ワークショップでは、基調講演の内容を踏まえ、「ポリファーマシー弊害を減らすために何ができるか」をテーマに、参加者54名が7グループに分かれて、解決方法について活発な意見交換を行いました。なお、意見交換では、次のようなご意見や要望などが話されました。

#### <患者さん側ができること>

- ・薬がいない健康なからだ作り
- ・病院を受診するときはお薬手帳を持参する
- ・かかりつけ医・かかりつけ薬局をもつ
- ・わからないことは医師や薬剤師に聞いてみる
- ・家族が受診したときは薬をいつ・どのくらい飲むか確認する

#### <医療関係者ができること>

- ・患者さんとよりよいコミュニケーションを取り相談しやすい関係を作る
- ・医師・看護師・薬剤師が患者のADL（日常生活動作）を考慮し飲みやすく処方する

#### <要望として>

- ・薬の相談ができるところがあるといい
- ・訪問などでも服薬指導してほしい
- ・病院以外の場所でも勉強会などを開催してほしい



最初は、ポリファーマシーという言葉に聞き慣れない方がほとんどでしたが、講演やワークショップを通して、参加された多くの方々に理解され関心をもっていただき、とても有意義な懇談会となりました。

平成29年度も継続して様々な内容で開催して参りますので、今後ともたくさんの地域の皆様にご参加いただきたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

地域医療福祉連携室

## 新 ドクター紹介



院長 宗像 秀樹  
兼 地域医療連携室長 兼 感染管理室長  
兼 診療情報管理室長  
県立胆沢病院より着任



中村 祐貴  
総合診療内科医師  
県立中央病院より着任



大崎 洸  
総合診療外科医師  
県立久慈病院より着任

ホームページは平成28年度に完全リニューアルいたしました

千厩病院ホームページアドレス <http://www.senmaya-hospital.jp>

検索

平成29年3月16日（木）12時より大会議室において、当院ボランティア団体の皆さんの日頃の活動への感謝の意を込めた合同懇談会が開催されました。

下沖院長より当院ボランティア団体の日頃の活動への感謝が述べられ、感謝を込めて当院の名前入りボールペンを贈呈し、その後、各ボランティアの代表者より今年度の活動報告と次年度の活動計画等が述べられ、昼食を取りながら、情報交換など会は和やかに終了しました。



## セーフティマネージメントが取り組む5S活動

5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）活動が大切な活動であることは医療業界においても広く知れ渡り、5S活動に取り組む医療機関は増加しています。

当院でも、平成26年度から、各部署のセーフティマネージャーが中心になって5S活動に取り組んできました。看護科には馴染みのある言葉でしたがコメディカルの皆さんからは「何の略」という疑問の声が聞かれますので、毎年5月に「5S活動の実際と進め方」という説明会を行なっています。その後、各部署の現状から問題点や課題を抽出し、改善に向けたスケジュールを立案して実践して行きます。昨年度はその成果を【5S活動発表会】としてポスターセッション形式で全職員へ発信しました。内容についてご紹介します。

	発表部門	発表者	テーマ
1	事務部門	松田誠志	パソコン内の整理・整頓
2	薬剤科部門	佐藤秀樹	化学療法室の整理・整頓
3	栄養科部門	山口綾菜	整理・整頓が行き届いた厨房づくり
4	放射線技術科部門	菊池賢一	放射線被曝線量管理
5	臨床検査技術科部門	福田めぐみ	入力ミスを減らそう
6	リハビリテーション技術科部門	渡邊綾香	物品・書類の整理。作業しやすい環境づくり
7	臨床工学技士部門	長沼優弥	医療機器の適切な保管への取り組み
8	外来(看護科)	熊谷美恵	透視室5番更衣室の5S活動
9	手術室/透析(看護科)	菅原鈴恵	オーバーテーブル・トレイの5S活動 外来カルテ・透析記録ファイルの5S活動
10	3病棟	小野寺奏子	内服管理の見直し
11	4病棟	千葉久美子	排泄行動に関連した転倒・転落の減少に向けた取り組み
12	5病棟	佐々木まり子	入院・入棟時からの私物管理



昨年度は発表だけではなく、各部署の頑張りに敬意を表し、3部門（リハビリテーション技術科・事務部門・外来看護科）に優秀賞が手渡されました。

5S活動は3年間を経て病院全体に浸透しつつあると感じています。これで終わりではなく次に何するという声も聞こえ始めていて、一人ひとりが前向きに取り組もうとする姿勢が伺えます。これからも安全な職場環境づくりを職員皆で進めて行きたいと思えます。

医療安全管理専門員 佐藤 正子

# 決定!

## 28年度 所属長表彰



平成28年度は次のとおり4部門(団体)が所属長表彰を受けました。平成29年3月23日(木)に授与式が行われました。



### 1. 地域包括ケア病床プロジェクトチーム

(代表 医事経営課長 稲田 敦夫)

地域包括ケア病床の試行運営や職員の理解を深める研修会を実施し予定日の本格稼動につなげ併せて病院運営に貢献しました。



### 2. 電子カルテワーキンググループ

(代表 医事経営課 主査 松田 誠志)

平成28年4月のキックオフミーティング開始から各ワーキンググループで協議を重ね当初の予定日に本格稼動につなげ事業運営に貢献しました。



### 3. 臨床検査技術科 (代表 臨床検査技師長 細川 裕史)

業務手順の見直し等を行い医師及び看護師の業務支援を行い業務改善に貢献しました。



### 4. 看護科 (研修委員会 代表 看護師補佐 佐藤 美智代)

(補助者会 代表 看護補助者 金野 美保)

PNS (パートナーシップ・ナーシング・システム:二人の看護師で複数の者さんを受けもち、パートナー同士で業務を補完しあうことでより質の高い看護を提供する)の継続によりワーキングバランスの推進及び事業運営に大きく貢献しました。



授与式では下沖院長から当該4部門(団体)の各代表に表彰状と金一封が授与され、表彰の主旨の説明と感謝の意及び今後の業務への期待等の言葉が述べられました。その後被表彰者の代表として医事経営課松田主査より謝辞と新たな決意が述べられました。

表彰を受けられた各部門の皆さん、大変おめでとうございます。今後益々の飛躍・活躍をご期待いたします。



患者さんの面会について

この表彰は、業務改善等により優秀な成果・業績をあげた各病院職員等をそれぞれの病院長が表彰し、職員の意欲・満足度の向上に資することを目的として平成17年度から「医療局所属長職員表彰実施要領」で制定されたものです。

### お願い



病院敷地内は駐車場を含め、**全面禁煙**となっております。  
ご協力をお願いします。

お見舞い行きたいな～



発熱・風邪症状のある方は面会をご遠慮ください!

ご不明な点は病院職員へおたずね下さい。

### 病院理念「すべての人びとに安らぎと希望を」



復興と再生へ

~Together  
As ONE~

再生への願い【若草リボン】

<http://www.senmya-hospital.jp>

岩手県立千厩病院

〒029-0803

岩手県一関市千厩町千厩字草井沢32番地1

TEL 0191-53-2101

FAX 0191-52-3478

Email:EA1012@pref.iwate.jp

編集・発行 岩手県立千厩病院広報委員会